



古田 敦也さん Atsuya Furuta

川西市出身。県立川西明峰高校、立命館大学、トヨタ自動車を経て、ヤクルトスワローズに入団。5度のリーグ優勝と4度の日本一に導く。MVP 2回、首位打者 1回、ゴールデングラブ賞 10回受賞。平成27年に野球殿堂入りを果たす

越田 謙治郎 Kenjiro Koshida

平成14年10月に当時全国最年少で市議に就任。市議と県議各2期を経て、平成30年10月に市長に就任。令和4年10月に再選し、現在2期目を迎える

逆境を跳ね返し夢をつかむ

越田市長

古田さんは現役引退後も野球解説やニュース番組への出演など、ご多忙の中、川西でチャリティゴルフ大会や古田旗争奪少年軟式野球大会、ここ古田敦也メモリアルギャラリーなど、名誉市民としていつも川西への変わらぬ思いを持ち続けていただいていることを心からうれしく思います。

古田さん

最近2カ月に1回の頻度で川西に帰りますが、子どもの頃と比べて、川西勢口駅周辺はマンションが増えて、大きく変わりましたね。

僕が高校生の頃は、川西勢口の駅前にファストフード店が初めて出店したことが、まちの話題になっていました。先生からは、下校中に寄らないようにとよく言われたことを今でも覚えています。

越田市長

古田さんは、首位打者や



新春 市制 70 周年 対談 今とこれから

川西市名誉市民

古田 敦也さん

川西市長

越田 謙治郎

令和6年8月1日で市制施行から70年を迎えます。市制70周年を記念し、名誉市民の古田敦也さんと越田市長の対談をキセラ川西プラザ1階の古田敦也メモリアルギャラリーで行いました。古田さんが感じる川西の魅力やこれからの未来を担う子どもたちへの思いを語っていただきました。

んです。それで、自宅から近い県立川西明峰高校に進学することに決めました。

越田市長

高校卒業後は野球を続けないうつもりだったとお聞きしました。高校卒業後からプロ野球選手になるまでのことを教えてください。

古田さん

高校までで野球をやめようと思い、一般入試で立命館大学に合格しました。ですが、立命館大学の監督に誘われて続けることにしました。

大学3年生からスタメンとして試合で活躍し、4年生になりプロ野球選手になるうと意識し始めました。でも、結局ドラフト指名されなかった。周囲からは「目が悪かったから」「眼鏡をかけて活躍している人がいなかった」など言われましたね。乱視だったこともあり、当時は眼鏡でしか矯正することができなかった時代です。

大学卒業後に入社したトヨタ自動車では、反骨精神を持って頑張った結果、憧れのプロ野球選手になることができました。出会ってきた人の縁に感謝しています。



子どもたちの挑戦が ふるさとのミライを輝かせる

笑顔あふれるまちを次世代につなげる

未来に続くものを
みんなでつくり上げる

越田市長

今年の8月1日で市制施行から70年を迎えます。70周年記念事業に関するプロジェクトチームをつくり、令和6年の1年間を通して行う周年事業の準備を進めています。ただ単に70周年の節目を祝う事業で終わらせるのではなく、市制100周年を見据え、未来に続くものをつくりたいと思っています。

古田さん

おめでとございます。川西は僕が生まれ育ったまちでもあり、今でも大切な思い出です。おとなになってからもチャリティゴルフ大会や古田旗争奪少年軟式野球大会などで、川西とつながっていることをうれしく思います。

越田市長

古田さんが今も続けられている活動は、当時どのような経緯で始められたのですか。

古田さん

市民の皆さんから子どもたちのために力を貸してほしいと相談がありました。僕自身も自分の名前を使うことで川

やりたいことがあれば 全力で挑戦する

かなえない夢を実現するために
諦めずに努力する

西の子どもたちのためになれ
ばと思い、協力させていた
だきました。古田旗争奪少年軟
式野球大会は、今では県外の
チームも参加するようになり
毎年盛り上がっています。

越田市長

話は変わりますが、昨今、社
会情勢の変化が著しく市民の
価値観が多様化する中、川西
もスピード感を持った対応が
求められています。古田さん
は、今後川西にどのようなこ
とが必要だと思われませんか。

古田さん

僕が東京で生活するようにな
ってから周囲に「川西出身
です」と言っても知らない人
が多いんですよ。大阪に近い
ベクトタウンで緑も多くあり
、まちと自然が調和された
めっちゃいいまちなのに。

越田市長

だからこそ、多くの人に川
西を知ってもらい、若い世代
を中心ににぎわってもらいた
いですね。

越田市長

川西は大阪へのアクセスも
良く、比較的手頃な価格で広
い家に住むことができます。
また、川西勢口駅周辺では
市民が主体となってまちを盛
り上げたり、北部の黒川に行

入れています。

少子化による部活動の減少
や教員の働き方改革を受け
て、子どもたちがスポーツを
する環境が年々厳しくなって
います。そこで、部活動を地
域や民間事業者などに担っ
てもらうなど、移行を進めよ
うとしているところです。

最近、川西市と市内事業者、
大学のゴルフ部と一緒になっ
て、中学校にゴルフ部を作る



チャリティの収益金は少年野球の発展などに使用



大会の合間に球児とコミュニケーションを図る

子どもたちの 頑張りを後押しする

川西を大切に思ってもらえる人が
一人でも多く増えてくれたら

けば桜や紅葉などの自然を感
じられたりする場所なん
です。

古田さん

まちのすぐ近くに自然があ

うということ、中学生ゴル
フ体験会を実施しました。

古田さん

スポーツも多種多様になっ
てきていますよね。だからこ
そ、地域で支えるべきですし、
スポーツをする環境をおとな
たちがカバーする必要がある
のではないのでしょうか。

他にはない面白い取り組み
をして、良いモデルケースを
つくれば、それが川西の魅力
につながり人が集まると思
います。期待しています。

子どもたちの活躍を願って

越田市長

市制70周年のテーマは「笑
顔つづくミライへ。」です。笑
顔あふれるまちを次世代につ
なげたいという思いから決め
ました。

子ども・教育分野の取り組
みが、子どもたちの笑顔につ
ながればと思っています。子
どもたちの笑顔で、親世代や
おじいちゃん・おばあちゃん
世代も笑顔になり、幸せにな
ることを信じて頑張ります。

そして、野球に限らず、若
い人から古田さんのように日
本や世界で活躍する人が出て
きてほしいですね。その中で、



る。それが川西の魅力ですよ
ね。

越田市長

私が市長になってからは、
特に子ども・教育分野に力を

川西を大切に思っていただ
き、川西に帰ってきてくれた
らうれしいです。

苦労を乗り越えて夢をかな
え、ご活躍される古田さんか
らのお言葉は子どもたちに
とっても励みになると思いま
す。最後に、未来を担う子ど
もたちへメッセージをお願い
します。

古田さん

人生は何があるか分かりま
せん。予期しないことが起こ
ることもあると思います。置
かれていた環境のせいにした
り嘆いたりしたい気持ちは分
かりますが、そこで諦めるの
ではなくもう一度踏ん張って
夢に向かって努力してほしい
なと思います。

人生は一度きりですし、自
分の可能性を否定せずに挑戦
したいことがあれば全力で
チャレンジしてほしいです。

越田市長

川西市としても子どもたちが
が頑張ろうと思うことを後押
ししていきたいです。今後も、
ぜひ川西と子どもたちのため
に力を貸してください。
古田さん、これからもます
ますのご活躍をお祈りいたし
ております。